

令和5年度 第2回 宇治市乳幼児教育・保育推進協議会

保幼小連携専門部会

日時：令和5年8月9日（水）

午後2時30分から

場所：宇治市役所

6階 602会議室

<次第>

- 1 開会
- 2 検討（課題に対する対応策の検討）
- 3 その他連絡事項
- 4 閉会

第1回保幼小連携専門部会

現状把握、課題の抽出 主な意見

1 保護者（その子どもを含む）支援に関する課題など

- (1) コミュニケーションの難しさ
（教育相談、療育施設、支援学級等について理解を得ることが困難）
- (2) 信頼関係を築いていくことの必要性
- (3) 子どもの抱える課題や療育参加の意義を理解している保護者も揺れ動く感情を持っており、親子を支援していくことが必要

課題
①

2 小学校との連携に関する課題など

- (1) 就学前の子どもが就学への不安感を軽減できる機会や仕組みの構築 → 課題②
（小学校の図書室を利用できる機会を作るなど）
- (2) 子どもの情報共有や連携の方法 → 課題③
（特に保護者は教育相談を申し込まなかったが気になる子）
- (3) 小学校の先生に就学前の子どもの姿を見てもらう機会の必要性
就学前から子どもたちは「友達に対して親切にする」、「助け合う」など
非認知能力を持ち、育っていることを再認識してもらうことの重要性

3 その他の課題など

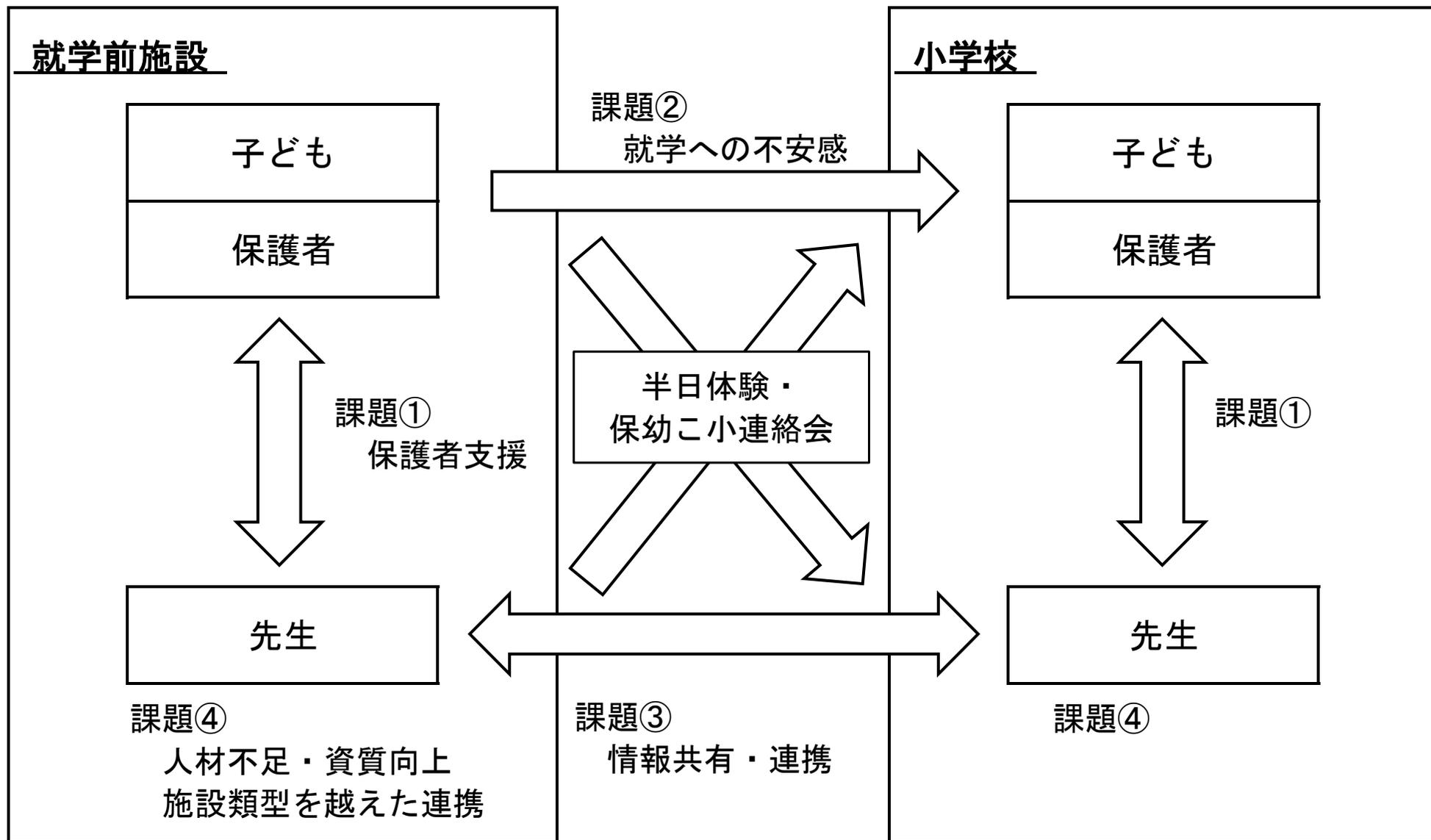
- (1) 先生の人手不足（就学前施設及び小学校）
- (2) よりよい教育・保育のために先生の資質を高めることの重要性
- (3) 就学前の先生が小学校の授業を知り、教育・保育に活かすことの必要性
- (4) 就学前の先生同士が施設類型を越えた横連携の必要性（公開保育など）

課題
④

4 課題の捉え方など

- (1) 配慮や支援が必要な子どもへの対応は避けて通れないテーマだが、本部会としては、そこに特化するのではなく、全ての子どもたちの育ちと学びについて検討していくことが必要
- (2) 課題を俯瞰的かつ自分事として捉え、それぞれの施設で何ができるかを考え、吟味、実践していくことが必要

保幼小連携専門部会 主な意見イメージ



令和5年度 保幼小連携・接続に向けた取組状況調査(抜粋) 対象:市内小学校

| No. | 設問 | 回答 | |
|--|---|----------------------------|----|
| 1 | 連携窓口(担当)を決めているか | 決めている | 21 |
| | | 決めていない | 1 |
| 2 | 連携窓口の役職名 | 教務主任 | 16 |
| | | 1年生担任 | 3 |
| | | その他 | 2 |
| 3 | 半日体験入学以外の交流 | 計画している | 7 |
| | | 計画していない | 15 |
| 4 | 具体的な交流内容 | 図書を読み聞かせ会、1年生生活科(砂遊び、昔遊び等) | |
| | | 運動会練習や大縄大会を園児が参観、学校探検 | |
| | | 1年生の歓迎パフォーマンス | |
| | | 図書室での司書による読み聞かせ | |
| | | 避難訓練 | |
| | | 1年生と砂遊び、5年生との交流 | |
| | 課題や悩み | ある | 17 |
| | | ない | 5 |
| 5 | ○主な課題など | | |
| | ・連携・協働する施設の選定 | | |
| | ・児童の出身園・所は多岐にわたり、それぞれ特色もあり、一般的な話以上の連携になりづらい | | |
| | ・スタートカリキュラムを作成しても、どこどのように連携を進めていけばよいのか踏み出しづらい | | |
| | ・就学予定の子どもは、複数の施設にまたがっており、どのように連携すれば良いのかイメージしにくい | | |
| | ・保幼小各々で教育方針にばらつきもあり、その点においても連携に困難さを感じる | | |
| | ・1年担任が就学前の育ちを知ることは大切だと思うが、毎年担当も変わり、継続性に困難を感じる | | |
| | ・教育課題が多い中、なかなか十分な取組に繋がりにくい | | |
| | ・複数の幼稚園や保育所から入学してくるため連携を図りにくい | | |
| | ・公立園がなく、私立や民間との連携は各園の利害関係等もあり、困難さを感じている | | |
| | ・連携する就学前施設が決まらない | | |
| | ・大半の児童が私立・民間の就学前施設から来ており、施設数も多い | | |
| | ・他市町では、連携校を割り振っているところもあり、割り振りがあれば、取組は進むと思う | | |
| ・入学児童は多くの園所からやって来て、対象が広範囲に渡るため児童同士の交流は限られてくる | | | |
| ・一部の教員だけでなく全教職員で取り組む方法が必要 | | | |
| ・スタートカリキュラムの改善、カリキュラム以外の連携(要支援家庭や児童への支援) | | | |
| ・就学前施設が多く、本校に入学する児童の人数差(1人～10人)が大きい | | | |
| ・現行の教育課程と保幼小連携の両立 | | | |
| ・関係学年での業務上の負担と関係学年以外への周知 | | | |
| ・10施設以上から入学してくるので、どのように統一した連携を図るべきかが課題 | | | |

中学校区・小学校区毎の就学前施設の状況

| 中学校区 | 小学校区 | 公立幼稚園 | 公立保育所 | 私立幼稚園 | 民間認定こども園 | 民間保育所(園) | 計 | 計 |
|---------|---------|-------|-----------|-----------|---------------------|-------------|----|---|
| 1 宇治 | 1 菟道 | | 善法 | こざくら | みんなのき三室戸 | みんなのきHana | 4 | 7 |
| | 2 菟道第二 | 神明 | 宇治 | | 南浦くすのき | | 3 | |
| 2 北宇治 | 6 小倉 | | 小倉双葉園 | 宇治 | | | 2 | 4 |
| | 9 北小倉 | | | 小倉 | こひつじ | | 2 | |
| 3 槇島 | 4 槇島 | | | | 槇島ひいらぎ のぞみ | | 2 | 3 |
| | 5 北槇島 | | | | いずみ | | 1 | |
| 4 西小倉 | 8 西小倉 | | 西小倉 | 堀池 西小倉 | | | 3 | 4 |
| | 10 南小倉 | | | | 南浦 | | 1 | |
| 5 西宇治 | 3 神明 | | | みのり | ひいらぎ | | 2 | 3 |
| | 7 伊勢田 | | | | 伊勢田 | | 1 | |
| 6 南宇治 | 13 西大久保 | | 大久保 | | | | 1 | 3 |
| | 14 平盛 | | | | 同胞 | くりくま | 2 | |
| 7 広野 | 11 大久保 | | | ひろの | | 広野 | 2 | 2 |
| | 12 大開 | | | | | | 0 | |
| 8 東宇治 | 16 三室戸 | | | | | あさひ | 1 | 4 |
| | 17 南部 | | | かおり | | | 1 | |
| | 18 岡屋 | 東宇治 | | | みんなのき黄檗(本園) | | 2 | |
| 9 木幡 | 19 木幡 | 木幡 | 木幡 北木幡 | | 登り(本園) 第2登り | | 5 | 7 |
| | 20 御蔵山 | | | 大谷大学付属大谷 | 登り(分園) | | 2 | |
| | 21 笠取 | | | | | | 0 | |
| | 22 笠取第二 | | | | | | 0 | |
| 10 黄檗 | 15 宇治 | | | | みんなのき黄檗(分園) 明星っ子 | なかよし(本園・分園) | 3 | 3 |
| 就学前施設 計 | | | | | | | 40 | |